

「奈良女子大生と学ぶ！消費生活講座」の開催 平成28年12月3日(土)

奈良女子大学生生活環境学部生活文化学科の学生有志による消費者問題研究会BEACSIによる『奈良女子大生と学ぶ！消費生活講座』が下市町、奈良県消費生活センターの共催・協力のもと下市町観光文化センターにて開催されました。

吉野警察署の多田生活安全課長から最近の消費者被害について話をいただいた後、市民消費者活動団体「あんあん」のメンバーと奈良女子大学生による寸劇・解説やクイズなど交えながら県内で実際に発生している「点検商法」、「悪質商法(電話勧誘・訪問販売・訪問買い取り)」などの消費者問題について学びました。

奈良県消費生活センターからは「困ったときはすぐに188番へ」、奈良女子大学の塚准教授からは「ヒヤリハット体験などを通じて消費者力を身に付けることが大切」との説明があり、参加者は真剣に聞き入っていました。

参加された約50人の住民からは、寸劇やクイズを楽しみながら様々な消費者問題について「知らなかったことを知れた」、「持っていた知識を確認できた」、「楽しく学べた」と大変好評でした。高齢者が消費者被害に遭わないため、トラブルを未然防止するためには、家族や近所の方など地域のつながりが大切であることの認識を深める良い機会となりました。



参加者からの感想

楽しく拝聴できました。

わからない点がよくわかった。もっとくわしく知らせて欲しい。

いろいろと改めて気づいたことがあった。話し合いもあってよかった。

少子化や人口減少策も今後進めてください。

身近に消費生活センターの職員に接することができた。

テーブル毎に意見を出し合ったこと、皆様の意見をまとめて発表して下さったことが良かった。

幅広い意見が出てたくさんの知識を得ることができました。若い方に私たち年寄りの意見を聞かれて、また考え方もいろいろと変わったことと思います。参考になりました。

「奈良県女性の活躍促進フォーラム」の開催 平成28年12月17日(土)

「奈良県女性の活躍促進フォーラム」(奈良県主催、奈良女子大学やまと共創郷育センター共催)が、本学記念館において、本学学生及び関係者を含め約230名が参加して開催されました。

フォーラムの開催にあたり、奈良県健康福祉部こども・女性局長 福西清美氏及び奈良女子大学副学長(やまと共創郷育センター長) 藤原素子氏から挨拶があった後、第一部として、前厚生労働事務次官 村木厚子氏から「女性の活躍～あなたに贈るメッセージ～」と題した基調講演があり、村木氏の厚生労働省時代の経験などを織り交ぜながら、女性の出産・育児に係る問題や女性の働き方等々について、ユーモアを交えながらお話しがありました。

第2部では、奈良県男女共同参画県民会議会長 音田昌子氏をコーディネーターとして、奈良のママが仕事をつくる会代表 井上京子氏、同志社大学教授 川口章氏及び産業カウンセラー 舟橋正枝氏の3名による「『男女がともに支える暮らしやすい奈良県』を目指して」と題するパネルディスカッションが行われました。パネラーからは、「夫婦の役割分担が大事」「パートナーをほめること」「男女に対する親の価値観を押し付けない」といった意見等が出て、参加者は、女性が活躍しやすい奈良県をつくるために何が大切であるかということを再認識しながら、終始和やかな雰囲気にも包まれたまま閉幕しました。



2. 奈良経済同友会との交流・懇談会

奈良女子大学社会連携センターでは、地元企業との連携をさらに強化するために、平成 18 年度から奈良経済同友会との交流・懇談会を開催してきました。

平成 28 年度については、下記の通り実施いたしました。

開催日時 平成 29 年 1 月 23 日 (月) 15:00～19:00

場所 奈良女子大学理学部 G201 教室

参加者 65 名

プログラム内容

「奈良女子大学の奈良女子大学のグローバル化に向けた取組みについて」

奈良女子大学生活環境学部中山研究室での取組み紹介

「グローバル人材の育成に向けて一国際交流センターの取組み紹介」

奈良女子大学国際交流センター講師 松永 光代

「奈良女子大学とバングラデシュ・ベトナムとの理系学術交流活動について」

奈良女子大学 研究院自然科学系教授 高須 夫悟

「奈良県における国際交流の現状と課題」

公益社団法人まちづくり国際交流センター理事長 吉田 浩巳 氏

3. 奈良女子大学第 14 回研究フォーラムの実施

奈良女子大学社会連携センターでは、大学での教育・研究成果を生かしながら、広く社会との連携協力を組織的に取り組んでおります。その一環として、一般の方に本学の教育研究活動を知って頂く機会として、年に一度研究フォーラムを開催しています。平成 28 年度は、本学教員や学生が地元自治体や地域の方と協働して取り組んだ『地域連携事業』及び『学生 NAR A 活プラン』成果報告会を実施いたしました。

開催日時 平成 29 年 3 月 9 日 (木) 13:30～17:00

場所 奈良女子大学コラボレーション Z306 教室

参加者 名

プログラム内容

1. 地域連携事業の成果報告

「奈良の食農産業と市民をつなぐ「食文化観光」の実践」

奈良女子大学研究院生活環境科学系助教授 青木 美紗

「消費者市民育成プログラムの開発と実施」

奈良女子大学研究院生活環境科学系准教授 大塚 浩

「地方創生と連動した田原本町商店街活性化事業」

奈良女子大学研究院生活環境科学系教授 中山 徹

『健康なら 21Step アップ事業』の行政・地域との連携強化プラン」

奈良女子大学研究院生活環境科学系准教授 星野 聡子

2. 学生NARA活プランの成果報告

「知った”NARA” 安心プロジェクト～奈良女生による「消費者市民」育成講座」

「農業体験・大和野菜普及プロジェクト」

「親子の食育プロジェクト」

「剣道交流大会支援を通じた奈良県過疎村活性化プラン」

4. COC+事業評議会、COC+事業シンポジウムの開催

(1) 第2回やまと共創郷育センター事業評議会（平成28年7月14日）

(2) やまと共創郷育センターシンポジウム2017（平成29年3月18日）

(1) 「第2回やまと共創郷育センターCOC+事業協議会」

平成28年7月14日(木)

平成28年7月14日(木)13時30分より奈良女子大学において第2回やまと共創郷育センターCOC+事業協議会を開催しました。当日は参加自治体、参加企業より多数の出席者がありました。奈良女子大学・奈良工業高等専門学校、奈良県立大学よりこれまでのCOC+事業の取り組みと今後の予定について説明を行った後、出席者全員で意見交換を行いました。平成27年度事業に対する意見や今後の事業実施に対する要望等様々な意見を頂戴しました。頂いたご意見・ご要望については、今後の事業実施に反映させるよう努めて参ります。



(2) 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)シンポジウム 2017」

共創郷育:「やまと」再構築プロジェクト

平成 29 年 3 月 18 日(土)

平成 29 年 3 月 18 日(土) 奈良女子大学記念館にて奈良女子大学・奈良工業高等専門学校・奈良県立大学の 3 校による「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」シンポジウム 2017 を開催しました。事業協働機関である奈良県、下市町、野迫川村、十津川村の関係者の他、奈良県内の企業関係者、奈良佐保短期大学を含む大学・高専関係者から多数の参加者がありました。

今岡春樹 奈良女子大学長による開会の挨拶、後藤景子 奈良工業高等専門学校長、伊藤忠通 奈良県立大学長の挨拶に続き、来賓の松谷幸和 奈良県副知事より挨拶があり、奈良県の地方創生総合戦略とも関連の深い COC+事業への期待と県内産官学の一層の協働を表明されました。

第 1 部では奈良女子大学 藤原素子副学長兼やまと共創郷育センター長、奈良工業高等専門学校 藤田直幸 COC+事業責任者兼専攻科長電気工学科教授、奈良県立大学 増本貴土地域交流センターCOC/COC+推進室特任准教授から各校の平成 28 年度の COC+事業成果および平成 29 年度事業計画が発表されました。引き続き、第 2 部では自治体・企業および学生による平成 28 年度の COC+活動事例報告・研究報告が発表されました。また、第 3 部では、「奈良の魅力を知り、奈良を支える人材育成の実践的取組」をテーマとして、自治体・企業・教員・学生によるパネルディスカッションが行われ、活発で幅広い意見交換がなされました。

シンポジウムを通じて、参加者間で成果や課題の共有を行うとともに、COC+事業のさらなる発展のために、産官学が一体となり、協働しながらそれぞれの立場で今出来ることに尽力しなければならないとの誓いを新たにしました。

《平成 29 年 3 月 18 日 シンポジウムの様子》

